

警察署協議会会議録

八女警察署協議会

開催年月日時	令和2年2月21日 午後4時00分 から 令和2年2月21日 午後5時30分 まで	
開催場所	八女警察署 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下9名
	警察署	署長、副署長、総務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、黒木警部交番所長、刑事課係長、交通課長、警備課長、事務局
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <p>1月23日に開催された警察署協議会会長連絡会議に出席したので、この場を借りて報告する。</p> <p>会議は、初めに公安委員長から「刑法犯認知件数が17年連続で減少するなど大きな成果となって表れているのは、委員の皆さんを初め県民が一体となって取り組んできたおかげである。」旨の挨拶があり、警察本部長からも「委員の皆様の貴重な御意見が日々の警察活動に活かされ、県民の安全・安心の確保への大きな力になっている。」旨の挨拶が行われた。</p> <p>その後、警察の三大重点目標及び重点目標に対する昨年の成果や課題等について説明があり、続いて、南警察署、若松警察署、嘉麻警察署の警察署協議会から活動報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 南警察署協議会 <ul style="list-style-type: none"> 警察と地域住民の懸け橋という役割を再認識し、警察との交流、あらゆる機会を利用して警察への提案を行い、各種犯罪の被害者にならないための啓蒙活動を実施 ○ 若松警察署協議会 <ul style="list-style-type: none"> 協議会委員のみで意見交換を行う時間を設け、委員間の意思疎通、協議会報告事項に対する理解を深め、会議の活性化を図っている 県内初となる外国人の警察署協議会委員を迎えた ○ 嘉麻警察署協議会 <ul style="list-style-type: none"> 交通事故対策として、委員が開通前の八丁トンネルを視察し、トンネル内の交通事故防止や事故発生時の対策を警察に要望し、隣接する朝倉警察署、地元消防等との合同による事故発生時の対応訓練を実施した 委員等の働きかけにより、交差点に歩行者待機場所が設置された 		

議 事 概 要

質疑応答の際、八女警察署協議会の意見として「八女市は、防犯カメラ設置の助成金が充実しており、防犯カメラ設置が進んだことにより、犯罪の抑止に大きく貢献している」旨の報告を行った。

簡単ではあるが、警察署協議会会長連絡会議の報告とする。

本日も活発な意見交換をお願いする。

【署長挨拶（要旨）】

本日は、令和元年度中における八女警察署管内の犯罪情勢報告並びに令和2年度の八女警察署取組方針について、地域住民の安全・安心の確保に向けた取組みの報告を行う。

今年度の取組方針は、しっかりと検討して決定したものであるが、我々警察だけでは、気付かない部分もあると思うので、委員の方々には様々な角度から意見を出して欲しいと考えている。

私は、今春退職するため、今回の八女警察署協議会が最後となる。

福岡県警察では、2月末に警部以上の階級にある職員の人事異動が予定されており、この会議に出席している各課長も異動する可能性はあるが、最後までよろしくお願いする。

【令和2年福岡県警察運営指針に沿った八女警察署の取組方針について】

1 県警の運営指針について

「県民の安全・安心の確保」

昨年同様、三大重点目標は、『暴力団の壊滅・飲酒運転の撲滅・性犯罪の根絶』であり、その達成に向けて取り組んでいく

2 八女警察署の運営指針について

「地域住民の安全・安心の確保」

昨年、各種治安対策に取り組んだ結果、刑法犯認知件数は若干増加したものの、高齢者を狙ったニセ電話詐欺や交通事故死者数は、平成30年と比べて大きく減少するなど一定の成果を挙げたところである。

しかし、管内の暴力団情勢のほか飲酒運転や高齢者による交通死亡事故は高い水準で推移しており、インターネットに起因する犯罪等の新たな治安課題の出現、豪雨による災害の発生など、地域住民に安全・安心を真に実感してもらうため、署員一丸となって、警察の責務を果たし、期待される八女警察署を目指し取り組んでいく。

3 八女警察署各課の取組

(1) 総務課

ア 取組方針

(ア) 良好な職場環境の整備

ワークライフバランスや士気高揚施策等を推進

(イ) 若手警察職員の育成

組織的な指導・教養を実施

(2) 生活安全課

ア 令和元年中の八女警察署治安概況等について

議 事 概 要

(ア) 刑法犯認知件数の推移

県内の刑法犯認知件数は、平成15年から17年連続で減少し、戦後最少を更新

(イ) 管内の刑法犯認知件数

(ウ) ニセ電話詐欺の現状

イ 取組方針

(ア) 車上ねらいを始めとした身近な犯罪の抑止対策の推進

各種広報啓発活動を強化するとともに、防犯カメラの設置促進等による防犯環境の整備

(イ) 子供・女性・高齢者を犯罪被害から守るための対策の推進

○ 児童虐待事案認知時における児童の安全を最優先とした対応の徹底

○ 性犯罪根絶に向けた対策の推進、前兆事案発生時における迅速・的確な対応及び行為者の早期特定、検挙

○ ニセ電話詐欺の被害防止に向け、手口の変遷に応じたタイムリーな情報発信、金融機関等と連携した水際対策の推進

(3) 刑事課

ア 取組方針

(ア) 暴力団対策

官民一体となった暴力追放運動の推進

(イ) 身近な犯罪の徹底検挙

○ 性犯罪の徹底検挙に向けた対策の強化

○ ニセ電話詐欺の発生実態に即した現場検挙活動の強化

○ 重要窃盗犯及び連続発生する窃盗事件の検挙対策の推進

○ 人身安全関連事案への迅速・的確な対処

(4) 交通課

ア 管内の交通事故情勢

(ア) 昨年の人身交通事故発生状況

(イ) 八女警察署管内における特徴的傾向

イ 取組方針

(ア) 飲酒運転撲滅対策

○ 飲酒運転の実態に即した実効ある取締りの徹底

○ 交通安全教育の充実

○ 関係機関等との連携による飲酒運転を許さない環境づくりの推進

(イ) 高齢者等の交通事故抑止対策

○ 横断歩行者等妨害等の交通死亡事故に直結しやすい違反の取締りの徹底

○ 道路管理者と連携した道路交通環境の整備

(5) 地域課

ア 取組方針

(ア) 三大重点目標の達成に向けた街頭活動の強化

○ 飲酒運転、交通事故に直結する危険性の高い違反に対する取締りの徹底

○ 前兆事案等、性犯罪への適切な対応

議 事 概 要

- 「見せる警戒活動」の強化、「声かけ」による注意喚起の推進
- (イ) 多角的な実態把握活動による発信活動の推進
- 巡回連絡、連絡協議会、ミニ広報誌等を通じた効果的な情報発信の推進
- (6) 警備課
- ア 取組方針
- (ア) 災害対策の推進
- (イ) テロ防止に向けた各種活動の実施

【質疑応答】

- 委員から「高齢者による交通事故原因のうち、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故の発生状況について教えて欲しい」旨の質疑があり、交通課長から「八女警察署管内においても、アクセルとブレーキの踏み間違いによる交通事故は、少数であるが発生している。昔から言われている交通事故原因の7割が危険を察知できなかったことによるものであり、2割が危険を察知したが漫然と運転していた、1割が危険を察知して注意深く走行していたが、運転操作を誤ったことによるものと言われている。但し、事故当事者が高齢になるにつれ、一般的に1割と言われている運転操作ミス割合が高くなってくる。」旨の回答があった。
- 委員から「警察署協議会会長連絡会議において、若者による飲酒運転が増加しているとの話があったが、八女警察署管内における発生状況を教えて欲しい」旨の質疑があり、交通課長から「当署管内では、飲酒運転の年代別による偏りは特に見られない。むしろ、地域の特性上、若者による飲酒運転は、他の年代よりも少ない傾向にある。依然として飲酒運転は増加傾向にあることから取締り及び飲酒運転撲滅の広報活動に取り組んでいく。」旨の回答があった。
- 委員から「先日、外国人数名が、自転車のカゴにバットだけを入れて走行しているところを見かけた。野球をする場所を探していたとは思いますが、グローブを持っている様子がなく不審に感じたので、パトロール中にもし見かけるようなことがあった場合は、声かけをお願いしたい。また、別グループの外国人らが、道路沿いになっている果物をちぎっているところも見かけたことがあるので、本人達や本人達が働いている受け入れ企業に対し、注意喚起をしてほしい。」旨の要望があり、地域課長が「警ら活動時に見かけた場合は職務質問を行い、適正な措置を講じる。」旨の回答があった。
- 委員から「校区別の刑法犯認知件数の資料で、空き巣の発生状況に関して特定の地域に偏りが見えるが、何か原因があるのか教えて欲しい。」旨の質疑があり、生活安全課長から「山間部など、のどかな地域になるほど、無施錠のまま外出することが多く、空き巣被害が多くなる傾向にある。」旨の回答があった。
- 委員から「約1年前、警察署協議会において、渋滞緩和のため、広川町の国道3号線と県道が交わる信号交差点に右折専用信号を設置して欲しいという要望を出したところ、実際に同所に右折専用信号が設置され、非常にスムーズに通行することができるようになったのでお礼申し上げます。」旨の意見が出された。
- 委員から「国道3号線下りの本村北交差点において、右折専用車線が短いため、右折待ちする車両がすぐに一杯となり直進車線まで溢れ、特に朝夕の通勤、帰宅の

議 事 概 要

時間帯に渋滞が発生することから対策を取ることはできないか」旨の意見が出され、交通課長から「国道3号線の道路管理者は国交省となることから、関係機関と連携し対応を検討する。」旨の回答があった。

【閉会】

以上をもって会議を終了した。